

地域おこし協力隊 “奔走中”

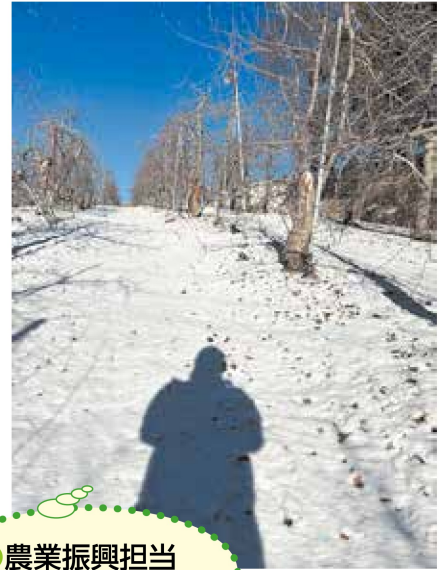
地域振興係

りんご農家として独り立ちを目指して活動している芳野です。

昨年のりんごは非常に厳しい状況でした。暖冬によりりんごの花の開花が例年より10日ほど早く、開花後の寒の戻りで霜や低温により花が凍ってしまい、実になる前に落ちてしまう状況でした。夏場は高温で降水量が少なく実が大きくなっていく時期に水を与えることができず、また秋になっても高温は続き、色づきも悪くなってしまいました。りんごの数が少なく、玉も小さく、色づきも悪い3重苦だったわけです。先輩農家さんに話を聞いても「こんな年は初めてだ」と言っておられ、暖冬だといわれている今年もどうなるか心配しています。

この原稿を書いているのが1月なので、今年の開花はどうか？ その後の気温は？ 雨は？ 台風は？ など心配すればきりがありませんが、今はりんごの木の剪定をしっかりと行い、春に向けて準備をしていきます。

でもこのまま温暖化が進めば、長野県でりんご作りができなくなってしまいうんじゃないかと思う「今後は他の果物も視野に入れておかなければいけないのかな」なんて考えも頭をよぎります。



● 農業振興担当 芳野 昇です。

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年から3年です。具体的な活動内容や条件、待遇等は各自治体により様々ですが、総務省では、地域おこし協力隊員の活動に要する経費に対して隊員1人あたり480万円を上限として財政措置を行っています。（参照：総務省HP）

「がんばる地域応援事業」活動報告

地域振興係

団体名	話そう支え合おう「ハッピーマイル立科」
代表者	飯嶋 智子
活動内容	我が子の発達に気になることがある保護者がリラックスモードで困りごとを話したり、関わり方を考え合ったりと悩みを感じている仲間と繋がることで生活の中でホッと肩の荷を下ろせるような場を作ることができたらと立ち上げました。今年度は、座談会や当事者の方のお話、専門の先生をお招きし学習会を開催しました。
代表者メッセージ	お子さんの発達に1人で悩んでいませんか？ 1人ではありませんよ。 笑顔で楽しく子育てができるよう皆さんと一緒に考えていけたらと思います。どなたでもお気軽にご参加ください。



団体名	外倉りんご研究会
代表者	中谷 嘉信
活動内容	私たちは、りんご生産者を中心に4月に発足しました。りんごを栽培・販売するだけでなく、りんごの加工品などの開発・試作・研究を通してりんごの魅力を発信しています。今年度は乾燥機を導入して、りんごチップ作りなどに挑戦しました。
代表者メッセージ	今年度は春先の遅霜や夏の干ばつにより、りんごの被害は多々あり、生産者にとっては厳しいものとなりました。規格外のりんごを使ってりんごチップを何種類か作りました。子どもから高齢者まで食べやすいと好評でした。災害時の非常食にと、能登半島地震被災者の方々に届けたいと考えています。ただいま、新メンバー募集中です。興味のある方はご連絡ください。

